



Bokeh 21 とは…

待ち望んだ女性センター、愛称は“Bokeh 21”です。

“Bokeh”はフランス語で、“花束”的意味。1本1本の個性を持った花が集まって、また別の個性を持つひとつの花束となるように、区民の皆さんのがひとり、ひとりの個性を生かしながら、男女平等社会の実現という大きな目標に向かって学習、交流する拠点施設となるように、そして、来たるべき21世紀が男女それぞれにとって豊かで明るい社会であるようにとの願いを込めました。



ごあいさつ

このたび、女性センター「Bokeh 21」が完成しましたことは、区議会をはじめ区民の皆様ならびに東京都のご理解とご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

この女性センターは、女性の地位向上と社会参加を推進する拠点として建設されたものです。

今日、眞の男女平等社会を築くことは国境を越えた課題のひとつです。昭和50年の国際婦人年における「世界行動計画」の呼びかけや、昭和60年の「女子差別撤廃条約」の批准などにより、我が国でも女性問題への関心は着実に高まっています。

本区においても、昭和62年10月「婦人問題解決のための中央区行動計画」を策定し、その計画課題に沿って総合的な女性施策を推進してまいりました。このセンターは、こうした施策のひとつとして完成したもので、愛称につきましては区民の皆様からの公募により「Bokeh 21」とさせていただきました。

「Bokeh 21」が区民の皆様の学習、交流、連帯を通じて、中央区における女性問題解決のためのシンボルとなりますよう、今後とも努力してまいりたいと思います。区民の皆様の積極的なご活用を心からお待ちしております。

平成5年4月

東京都中央区長

三田美英